

大阪市で!

みんな
幸せに
くらしたい!



何代にもわたってくらしてきた町、大阪。第二のふるさとになった大阪。大阪弁の優しさやあたたかさ。いろいろあってええやん、と違いを認め合ってきた大阪。歴史も文化も、商店街も、ものづくりも大事にしてきた大阪の、はずなのに。「ぼくの頭の中は、空港と港湾と高速道路」都構想の試金石はカジノ」と言い切る市長が

やろうとしているのは、126年続いてきた大阪市をつぶすことです。女性たちが願っているのは、安心してくらすこと。そのためにも、市民を応援する市政であってほしい。誰もがこの町で幸せに生きることを願っています。

府と大阪市があつてこそ 子どもが守られるのに

子どもは、風邪が重症化したり、怪我も多い。子ども医療費は、中学校卒業まで助成されていますが、大阪市がなくなると、市の助成がはずされて、大阪府の低い水準に後退するのではと不安です。所得制限はもつてのほかだと思います。

北区・畠中 昌美(46歳)



子ども医療費助成の拡充を求めて

子どもを 大事にして!

1歳児の娘が保育園に入れず、仕方なく小規模保育園へ入園しました。そこは保育園とは全然違う、マンションの一室です。光も風もなく、おやつは毎日スナック菓子です。住民投票やリニアなんかにお金を使わず保育園を作って!!

中央区・井上 亜紀(35歳)

街と業者を 元気にして

生野で美容室を始め50年、消費税や材料費も上がり、商売もお客さんも元気がなくなった感じです。赤バスも廃止され、おしゃれをして出かけることもなかなか、言うお客さんもおられます。都構想よりも街と業者を元気にしてほしい。

生野区・堀込 保子(74歳)

わが町に カジノなんて!

マカオに行った友だちの「カジノの周辺の町が荒んでいた」との話に「やっぱり!」。此花を故郷として育つ子や孫に住みよい町をと運動もしてきました。人の不幸につけ込んで地方行政をやるなど許されません。

此花区・西脇 須美子(63歳)



安心して 住み続けたい

市営住宅の家賃が6000円値上がり、これからもまだ上がると聞いています。少ない年金生活で、夫は難病を抱えています。家賃がもっと上がると生活していきません。今は減免制度がありますが、もし大阪市がなくなったら、どうなるか、とても不安です。

平野区・河邊 美佐子(71歳)

市民病院 なくさないで

長女が何度も胃腸炎になり、入院しました。近くに住吉市民病院があつて助かりました。遠くの病院に行かなあかんと思うと、子どもも親も不安です。また、出産できる病院が近くにある事は心強いです。近くで安心してかかれる住吉市民病院をなくさないでほしい。

住之江区・香田 知恵(36歳)



市民の足なのに 民営化なんて!

大正区はバスがどうしても必要です。しかし便数は減らされ、いつ乗ってもギュウギュウ詰めです。積み残されたこともあります。高齢になると足腰が悪くなるのは当然。黒字の地下鉄収益をバスにまわせば、民営化せずにすみます。

大正区・森 恵美子(85歳)

減免制度も なくなる?!

この4月から、介護保険料が政令都市で一番高くなりびっくり!今は減免制度で私も助かっています。大きな財源がある大阪市がなくなったら、減免もなくなるかもと、不安でいっぱいです。

生野区・廣田 美佐子(79歳)

新婚さん、 いらっしゃい!

新婚世帯家賃補助を橋下市長はなくなしました。家賃補助があれば、新居の選択肢がひろがり、とても助かります。

結婚を祝福してくれる「新婚さんいらっしゃい」の優しい大阪府であってほしいです。

城東区・千葉 陽子(40歳)

大事なクレオ なくなった!

クレオ大阪北が4月1日に閉館となり、怒りがいっぱいです。大事な男女共同参画の施設なのに。市民の立場に立たず、文化や女性の人権をないがしろにする橋下市長は許せません。

東淀川・堀 智佐子(54歳)

橋下さんに 言いた〜い!

市は、中学の生徒に学習塾・習い事費1万円を支給する制度を広げていますが、今、急がれているのは、全国各市にひろがっている「35人学級」を市独自にすすめることや、もっと先生を増やしたり、クラブ活動を充実させることだと思います。

住吉区・中島 理恵子(40歳)

「都」構想では 老後が不安

厚生年金が減らされているのに、企業年金廃止の知らせを受け、これからのくらしをどうするか心細いです。

大阪府がなくなれば、国保料が上がり、本気でどう生きていけばいいのか考えてしまいます。

旭区・清水 千歳(70歳)

大阪市をなくす
都構想アヤシ



「反対」「はんたい」「ハンタイ」は有効。
「×」は無効になります。